

報道関係 各位

2016年10月30日

株式会社日本レースプロモーション

10月29日(土)～30日(日)

2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 最終戦 第15回 JAF 鈴鹿グランプリ
決勝結果速報

Race1: 国本 雄資(プロミュー/セルモ インギング)が、好スタートを決め優勝

Race2: ストフェル・バンドーン(ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)が、今季2回目の優勝

シリーズ: 国本 雄資が混戦の今シーズンを制し、初のシリーズチャンピオンに輝く!

2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 最終戦 第15回JAF鈴鹿グランプリの決勝が、三重県鈴鹿市 鈴鹿サーキット 国際レーシングコース(1周:5.807km)にて開催されました。今大会は、Race1、Race2の2レース制で争われました。

Race1は、2番グリッドのNo. 2 国本 雄資(プロミュー/セルモ インギング)が、好スタートでトップを奪うと、そのまま今季2勝目となる優勝を果たしました。2位には、No. 36 アンドレ・ロッター(バンテリン チーム トムス)、3位には、No. 1石浦 宏明(プロミュー/セルモ インギング)が続きました。国本 雄資は、この勝利によってポイントランキングトップとなり、チャンピオンへの可能性を大きく広げた状態でRace2に臨む事となりました。

Race2は、来期F1への参戦が決定しているNo. 41 ストフェル・バンドーン(ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)が、2番手から好スタートを見せると、2度のセーフティーカーによる再スタートを物ともせず、レース終盤までに2位まで順位を上げてきていたアンドレ・ロッターの追撃を振り切りトップチェッカー。国内最後のレースを最高の形で締めくくりました。3位は、No. 1 石浦 宏明(プロミュー/セルモ インギング)が続きました。

この結果、大混戦となった2016年シーズンのドライバーチャンピオンは、国本 雄資が獲得。2位には、全大会においてポイントを重ねたアンドレ・ロッター。最終戦をトップで迎え、ルーキーイヤーでのチャンピオン獲得の期待がかかっていたNo. 20 関口 雄飛(イトウ チュウ エネクス チーム インパル)は今大会でポイントを伸ばすことが出来ず、3位でシーズンを終えました。

* 記録の詳細は、添付「2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 最終戦 第15回 JAF 鈴鹿グランプリ 決勝正式結果」をご参照ください。



混戦の今シーズンを制し、初のシリーズチャンピオン輝いた、No. 2 国本 雄資(プロミュー/セルモ インギング)

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next

J SPORTS

SONY
Action Cam

NIKKI-ICHI
人気酒造

【ご参考】

1. 全日本スーパーフォーミュラ選手権とは？

純然たるレーシングマシンであるオープン・シングルシーターのフォーミュラカーによって競われる国内最高峰の自動車レースです。一般社団法人日本自動車連盟(JAF)が公認し、株式会社日本レースプロモーションのプロモートにより、1996年にフォーミュラ・ニッポンとしてスタート。2013年より名称をスーパーフォーミュラに変更し現在に至っています。

2. チャンピオンシップ

2016年全日本スーパーフォーミュラ選手権は、全7戦、日本全国5カ所のサーキットを11チーム(エントラント)、国内外の19名(19台)のドライバー(※)が転戦しチャンピオンが争われる、アジア地域唯一の国際格式選手権シリーズです。

(※)ドライバー:国内:12名、海外5カ国:7名(イギリス2名、インド、ドイツ、ブラジル各1名、ベルギー2名)

2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 ポイントシステム

順位	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位以下	P.P.
1大会1レース	10	8	6	5	4	3	2	1	0	1
1大会2レース	5	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0	1

*P. P. :ポールポジション(予選1位)には、ドライバーにのみ1ポイントが与えられる。チームポイントには加算されない。

*1大会2レース制の場合、レース1、レース2共に1レース制の得点の半分が与えられる。

*1大会2レース制の場合、最終戦に限りレース1、レース2の勝者には通常ポイントとは別に3ポイントが与えられる。これによりポールポジション+2連勝で最大18ポイントが与えられる。

*最終戦終了時点で、複数のドライバーまたはチーム(エントラント)が同一ポイントを獲得している場合は、高得点を得た回数が多い順に順位を決定する。

3. シリーズ賞典

シリーズ賞典として、年間チャンピオンドライバーには、株式会社日本レースプロモーションよりシリーズドライバーズチャンピオンカップと賞金が授与されるほか、自由民主党モータースポーツ振興議員連盟より同連盟杯が贈られ、観光庁より観光庁長官杯が交付されます。また年間チャンピオンチームには経済産業省より経済産業大臣杯が交付され、株式会社日本レースプロモーションより賞金が授与されます。

4. レース車両

◎シャシー

「クイック・アンド・ライト」をキーワードに開発されたSF14(イタリアダラーラ社製)を2014年より採用。

SF14は、キーワードの「クイック・アンド・ライト」特性を活かし、コーナリングスピードではフォーミュラ1マシン以上のパフォーマンスを叩き出します。この車両を採用して以来、レースの質が一気に向上したことから海外からの注目を集めるようになりました。

◎エンジン

日本を代表する自動車メーカーであるホンダとトヨタが次世代エンジン開発に貢献するコンセプト=NRE(※1)に基づき開発したHONDA HR-414E、TOYOTA R14A を搭載しています。

このエンジンの特徴としては「燃料リストラクター」(燃料流量規制システム)を全機装備し、燃料流量を一定にすることにより燃料をいかに効率良く活用しパワーに結びつけるかが、勝負の鍵となります。

厳しい開発競争の結果、効率の良さを図る“正味燃費消費率(BSFC)”、“正味熱効率”では市販ハイブリット車以上の性能を発揮しており、次世代エコエンジンの開発に貢献しています。

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next

J SPORTS

SONY
Action Cam

NIKKI-ICHI
人気酒造

(※1)NRE エンジンについて

ホンダ、トヨタ、ニッサンが、環境技術とモータースポーツの面白さの両立に向けに決定したエンジン規定。

- ・気筒配列 : 直列4気筒
- ・排気量 : 2,000cc+ターボ
- ・燃料吸気方式 : ダイレクトインジェクション
- ・燃料流量制限 : 鈴鹿、富士大会…燃料流量95kg/h
その他大会…燃料流量90kg/h

◎オーバーテイクシステム

レースを盛り上げる一助として、オーバーテイクシステム(以下OTS)を2009年より採用しています。このシステムは、スーパーフォーミュラが始めた仕組みです。

当該システムは、レースに於ける見せ場の一つである追い越しをより促すシステムです。

SF14のシステムは、各エンジンに装備されている燃料リストラクターを活用し、燃料供給量を一時的に増加させパワーを上げることができます。(※2)ステアリングにあるボタンを操作し、1大会につき5回、各20秒間使用可能となります。使用中は、ドライバーのヘルメット後方にあるランプ(オーバーテイクランプ=OTL)が点滅し、観客からも視認できます。

またポイントリーダードライバーは、その栄誉を称える意味から1台だけ赤色のランプ(名称:リーダーズレッド)を装着しています。

(※2)オーバーテイクシステムの効果について

- ・メカニズム : システム作動時に燃料流量を10kg/h増加させる
- ・効果 : 約60ps、10%の出力増
- ・ルール : 1回に20秒間作動、1大会で5回使用可能

◎タイヤ

今シーズンより横浜ゴム製のワンメイク供給です。同社における国内トップフォーミュラへの参戦は、1996年以来20年ぶりとなります。横浜ゴムのスーパーフォーミュラ用ADVANレーシングタイヤは、スーパーフォーミュラが要求するグリップ、耐久性、安全性などの厳しい目標に対し、高いパフォーマンスを発揮、レースの盛り上げに貢献しています。

5. 公式予選

公式予選はノックアウト方式(※3)で行われますが、今大会では、Race1のグリッドは予選Q1(20分間)の結果で決定し、Race2のグリッドはQ1ーQ3の総合結果で決定いたします。

(※3)19台エントリーの通常(1レース制)の場合:Q1(20分間)で15位から19位までのスタート位置を決定。10分間のインターバルの後、Q2(7分間)を行い9位から14位までのスタート位置を決定します。さらに10分間のインターバルの後、Q3(7分間)を行い、1ー8位までの決勝レーススタート位置を決定します。尚、この予選方式は、短いアタック時間の中、好タイムが出なければ文字どおりノックアウト(脱落)されることから、ノックアウト方式という呼称となりました。

6. 決勝レース

Race1、Race2の2レース制で行なわれます。

Race1は、鈴鹿サーキット国際レーシングコース(1周5.807m)を19周、トータル110.333kmにて争われます。

Race2は、同レーシングコースを35周、トータル203.245kmにて争われます。また、レース中タイヤ交換(4輪同時)のピットインが、1回義務付けられています。尚、雨天でスタートした際には、交換義務は発生しません。

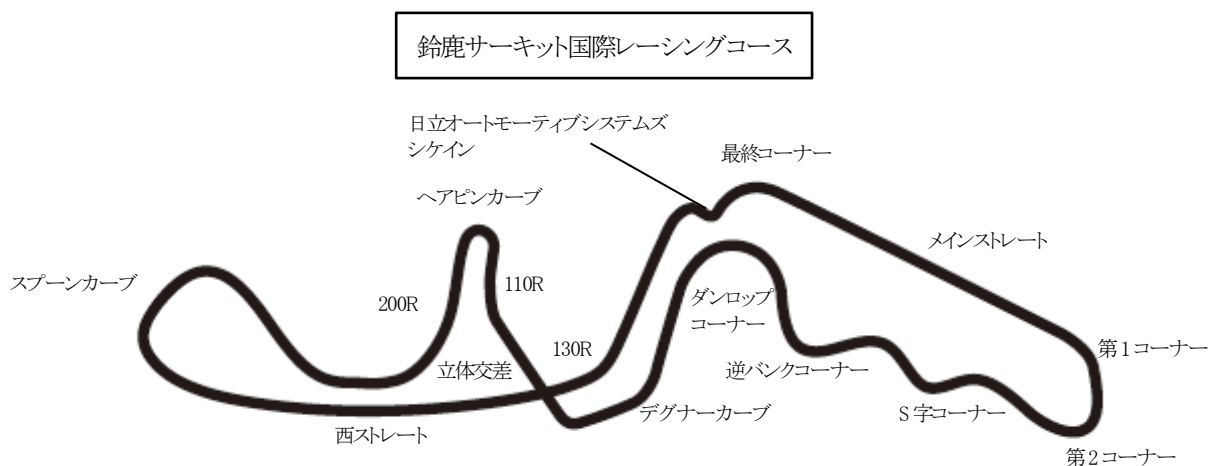
2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 開催スケジュール

日程	ラウンド/サーキット	予選方式	決勝レース方式
4 / 23 ~ 24	第1戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	250 km
5 / 28 ~ 29	第2戦/岡山国際サーキット	ノックアウト	250 km
7 / 16 ~ 17	第3戦/富士スピードウェイ	ノックアウト	250 km
8 / 20 ~ 21	第4戦/ツインリンクもてぎ	ノックアウト	250 km
9 / 10 ~ 11	第5戦/岡山国際サーキット (※)	時間 / ノックアウト	2 レース制
9 / 24 ~ 25	第6戦/スポーツランドSUGO	ノックアウト	250 km
10 / 29 ~ 30	第7戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	2 レース制

(※)熊本地震により、第5戦のオートポリス開催は中止となり、代替レースとして岡山国際サーキットにて開催いたしました。

7. 鈴鹿サーキット国際レーシングコースについて

コースは東西に細長く、中間部分の立体交差をはさんで右回りと左回りが入れ替わる、世界的にも珍しい8の字形のレイアウトとなっている。コース全長は5.807kmで、日本のサーキットの中で最長です。コース幅は10~16m。コーナー数は20。最大高低差は52m。世界の多くのサーキットと比べ摩擦係数の高いアスファルト舗装です。土地の高低差と低速~高速コーナーのバランスが上手く配合されており、難易度が高く走り甲斐のあるコースとして評価されています。



Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next

J SPORTS

SONY
Action Cam

人気酒造

8. 第15回 JAF 鈴鹿グランプリ / JAF グランプリ について

今大会は、昨年に引き続き一般社団法人日本自動車連盟より、「JAFグランプリ」としてのタイトルが掛けられています。

JAF グランプリは、1973年に最高峰レースであったF2000が全日本選手権となり、翌1974年鈴鹿サーキットでJAF グランプリとして開催されたことから始まります。その後、JAF 鈴鹿グランプリとして10回の開催を数え、現在スーパーフォーミュラでチーム監督を務める星野一義氏や中嶋悟氏らがビッグタイトルを獲得しました。また、海外からの有力選手も参加し、いくつもの名勝負が繰り広げられてきました。その伝統の大会が、一昨年28年ぶりに鈴鹿サーキットで復活し、今年は「第15回 JAF 鈴鹿グランプリ」として開催いたします。

大会数	年度	決勝日	大会名	カテゴリー	優勝者	優勝車名	
1	1974	11月2日	JAFグランプリ自動車レース	F2000	高原敬武	マーチ742・BMW	
2	1975	11月1日	JAFグランプリレース	F2000	星野一義	マーチ742・BMW	
3	1977	11月5日	JAF鈴鹿グランプリ自動車レース	F2000	リカルド・パトラーゼ	シェブロンB42・BMW	
4	1978	11月5日	JAF鈴鹿グランプリ自動車レース	F2	高橋国光	コジマKE008・BMW	
5	1979	11月4日	JAF鈴鹿グランプリ自動車レース	F2	星野一義	マーチ792・BMW	
6	1980	11月3日	JAF鈴鹿グランプリ自動車レース	F2	星野一義	マーチ802・BMW	
7	1981	11月1日	JAF鈴鹿グランプリ自動車レース	F2	中嶋悟	マーチ812・Honda	
8	1982	11月7日	JAF鈴鹿グランプリ自動車レース	F2	中嶋悟	マーチ822・Honda	
9	1983	11月6日	JAF鈴鹿グランプリ自動車レース	F2	ジェフ・リース	マーチ832・Honda	
10	1984	11月4日	JAF鈴鹿グランプリ自動車レース	F2	中嶋悟	マーチ842・Honda	
11	1985	11月3日	JAF鈴鹿グランプリ自動車レース	F2	中嶋悟	マーチ85J・Honda	
12	1986	11月2日	JAF鈴鹿グランプリ自動車レース	F2	星野一義	マーチ86J・Honda	
13	2014	11月9日	2014スーパーフォーミュラ第7戦 第13回JAF鈴鹿グランプリ	Race1	スーパーフォーミュラ	J.P.デ・オリベイラ	Lenovo TEAM IMPUL SF14
				Race2		中嶋 一貴	PETRONAS TOM'S SF14
14	2015	11月8日	第14回JAF鈴鹿グランプリ 2015 全日本選手権スーパーフォーミュラ第7戦 鈴鹿サーキット	Race1	スーパーフォーミュラ	アンドレ・ロツテラー	PETRONAS TOM'S SF14
				Race2		山本 尚貴	TEAM 無限 SF14
15	2016	10月30日	2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 最終戦 第15回JAF鈴鹿グランプリ	Race1	スーパーフォーミュラ		
				Race2			

2016 年全日本スーパーフォーミュラ選手権 最終戦 第 15 回 JAF 鈴鹿グランプリ エントリーリスト
(車両:SF14、タイヤ:ヨコハマタイヤ)

Car No.	ドライバー名	生年月日	出身地	チーム名 (読み)	監督	エンジン
1	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	1981/4/23	日本/東京都	P.MU/CERUMO・INGING (プロミュールセルモ インギング)	立川 祐路	TOYOTA R14A
2	国本 雄資 Yuji Kunimoto	1990/9/12	日本/神奈川県			
3	ジェームス・ロシター James Rossiter	1983/8/25	イギリス	KONDO RACING (コンドーレーシング)	近藤 真彦	TOYOTA R14A
4	ウィリアム・ブラー William Buller	1992/9/17	イギリス			
7	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	1977/1/14	インド	SUNOCO TEAM LEMANS (スノコ チーム ルマン)	山田 健二	TOYOTA R14A
8	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	1986/9/13	日本/兵庫県			
10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	1986/11/20	日本/栃木県	REAL RACING (リアルレーシング)	金石 勝智	HONDA HR-414E
11	伊沢 拓也 Takuya Izawa	1984/6/1	日本/東京都			
16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	1988/7/11	日本/栃木県	TEAM 無限 (チーム ムゲン)	手塚 長孝	HONDA HR-414E
18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	1991/7/25	日本/東京都	KCMG (ケーシーエムジー)	土居 隆二	TOYOTA R14A
19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira	1981/7/13	ブラジル	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL (イトウチュウ エネクス チーム インパル)	星野 一義	TOYOTA R14A
20	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	1987/12/29	日本/東京都			
34	小暮 卓史 Takashi Kogure	1980/8/1	日本/群馬県	DRAGO CORSE (ドラゴ コルセ)	道上 龍	HONDA HR-414E
36	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	1981/11/19	ドイツ	VANTELIN TEAM TOM'S (バンテリン チーム トムス)	舘 信秀	TOYOTA R14A
37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	1985/1/11	日本/愛知県			
40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	1989/9/15	日本/茨城県	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)	村岡 潔	HONDA HR-414E
41	ストフェル・バンドーン Stoffel Vandoorne	1992/3/26	ベルギー			
64	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	1989/1/29	日本/愛知県	NAKAJIMA RACING (ナカジマレーシング)	中嶋 悟	HONDA HR-414E
65	ベルトラン・バゲット Bertrand Baguette	1986/2/23	ベルギー			

2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 ポイントランキング

ドライバーポイントランキング

順位	No.	ドライバー	ポイント	4/24	5/29	7/17	8/21	9/11		9/25	10/30	
				鈴鹿 Rd.1	岡山国際 Rd.2	富士 Rd.3	もてぎ Rd.4	岡山国際 Rd.5-1	岡山国際 Rd.5-2	菅生 Rd.6	鈴鹿 Rd.7-1	鈴鹿 Rd.7-2
1	2	国本 雄資 Yuji Kunimoto	33	8	1.5	-	5	4	5	-	8	1.5
2	36	アンドレ・ロットterer Andre Lotterer	30	2	0.5	5	8	-	2.5	4	4	4
3	20	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	28.5	-	-	6	11	-	-	11	-	0.5
4	41	ストフェル・バンドーン Stoffel Vandoorne	27	6	-	<u>1</u>	3	5	1	3	-	8
5	1	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	27	-	6	3	6	1	3	-	<u>4</u>	<u>4</u>
6	37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	22	-	-	8	2	<u>1</u>	4	5	2	-
7	16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	15.5	11	2	-	1	-	1.5	-	-	-
8	19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira	15.5	-	-	10	-	0.5	2	-	0.5	2.5
9	40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	14.5	-	2.5	-	-	2.5	<u>1</u>	6	2.5	-
10	3	ジェームス・ロシター James Rossiter	12	3	-	4	4	-	-	1	-	-
11	10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	11	4	4	1	-	2	-	-	-	-
12	64	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	10.5	-	1	-	-	1.5	-	8	-	-
13	34	小暮 卓史 Takashi Kogure	8	5	-	-	-	-	-	2	1	-
14	7	ナレイン・カーディケヤン Narain Karthikeyan	5	-	-	2	-	3	-	-	-	-
15	65	ベルトラン・バゲット Bertrand Baguette	4.5	1	-	-	-	-	-	-	1.5	2
16	11	伊沢 拓也 Takuya Izawa	3.5	-	3	-	-	-	0.5	-	-	-
17	8	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4	ウィリアム・ブラー William Buller	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*表中ポイント数字の **太字**:優勝 下線:予選ポールポジション

チームポイントランキング

順位	チーム	ポイント	4/24	5/29	7/17	8/21	9/11		9/25	10/30	
			鈴鹿 Rd.1	岡山国際 Rd.2	富士 Rd.3	もてぎ Rd.4	岡山国際 Rd.5-1	岡山国際 Rd.5-2	菅生 Rd.6	鈴鹿 Rd.7-1	鈴鹿 Rd.7-2
1	P.MU/CERUMO・INGING (プロムュー/セルモ インギング)	54	8	6.5	3	11	5	8	-	8	4.5
2	VANTELIN TEAM TOM'S (バンテリン チーム トムス)	51	2	0.5	13	10	-	6.5	9	6	4
3	ITOHU ENEX TEAM IMPUL (イトウチュウ エネクス チーム インパル)	42	-	-	16	10	0.5	2	10	0.5	3
4	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)	36.5	6	2.5	-	3	7.5	1	9	2.5	5
5	NAKAJIMA RACING (ナカジマレーシング)	15	1	1	-	-	1.5	-	8	1.5	2
6	TEAM 無限 (チーム ムゲン)	14.5	10	2	-	1	-	1.5	-	-	-
7	REAL RACING (リアルレーシング)	14.5	4	7	1	-	2	0.5	-	-	-
8	KONDO RACING (コンドーレーシング)	12	3	-	4	4	-	-	1	-	-
9	DRAGO CORSE (ドラゴ コルセ)	8	5	-	-	-	-	-	2	1	-
10	SUNOCO TEAM LEMANS (スノコ チーム ルマン)	6	-	-	2	-	3	-	-	-	1
	KCMG (ケーシーエムジー)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*表中ポイント数字の **太字**:優勝

*チームポイント:各チーム(エントラント)に所属するドライバーの獲得ポイントを合計。同一チーム(エントラント)に2台以上の車両が所属する場合は、上位2台分が得点対象となる。チームポイントには、ポールポジションのポイントは与えられない。

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next

J SPORTS

SONY
Action Cam

NIKKI-ICHI
人気酒造

－開催概要－

- 大会名称 : 2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 最終戦
第15回JAF鈴鹿グランプリ
- 開催日程 : 2016年10月29日(土) 公式予選
2016年10月30日(日) 決勝レース
- 主催 : 名古屋レーシングクラブ (NRC)
鈴鹿モータースポーツクラブ (SMSC)
株式会社モビリティランド
- 公認 : 国際自動車連盟 (FIA)
一般社団法人日本自動車連盟 (JAF)
- 認定 : 株式会社日本レースプロモーション (JRP)
- 後援 : 三重県／鈴鹿市／鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会／一般社団法人 鈴鹿市観光協会／
鈴鹿商工会議所／東京中日スポーツ／中日スポーツ／中日新聞社

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

**YOKOHAMA**

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next

**J SPORTS**

SONY
Action Cam

**NINKI-ICHI**
人気酒造

【TV放映予定】

● J SPORTS

全7戦の予選と決勝の様様をライブ中継。再放送やレースダイジェスト番組も放送します。
放送スケジュールは、「J SPORTSモータースポーツ」ウェブサイト内の「スーパーフォーミュラ」ページ、
または「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」でご確認ください。

http://www.jsports.co.jp/motor/super_formula/、 <http://www.superformula.net/>

● BSフジ『スーパーフォーミュラ Go On!』

あの時、あの瞬間、何が起きていたのか？レースの裏側を独自の視線でたっぷり振り返るハイライト番組。
ドライバーの想いやマシンの秘密に迫るミニコーナーなども加え、スーパーフォーミュラの魅力満載です。

出演者：本山哲、松田次生、春那美希

<放送日時> ※放送日時は変更となる場合があります。

第7回 11/5 (土) 23:00～23:55

第8回 12/26(月) 23:00～23:55

● フジテレビNEXTライブ・プレミアム(CS放送)『スーパーフォーミュラTV』

レースダイジェストとスタジオトークでスーパーフォーミュラの魅力を伝える30分の情報番組。
ゲストには参戦ドライバーに加え、トップフォーミュラの歴史に名を馳せたレジェンドたちも出演します。
過去の名場面から現在まで、二人のゲストがフォーミュラへの想いを熱く語ります。

司会はフジテレビF1実況アナウンサーです。

<放送日時> ※放送日は、レース翌週の金曜日。再放送あり。

第8回のゲストは、未定。放送日は11/4(金) 21:30～22:00。

詳しくは番組ホームページをご覧ください。 http://otn.fujitv.co.jp/b_hp/914200066.html/

● フジテレビ(地上波)『超速GO音』

今注目のドライバーや監督を毎回ゲストに迎え、知られざるレースの魅力、ドライバーの凄さやプライベート
を徹底的に語りつくす、スーパーなアスリートトークショー。

小林可夢偉と中嶋大祐の二人の参戦ドライバーがパーソナリティを務め、番組の進行はピエール北川、そして
乃木坂46の樋口日奈がナレーションを担当します。

<放送日時>

第7回のゲストは、中嶋一貴、山本尚貴。放送日は、10/23(日) 26:35～27:05(予定)。

10/31(月)から動画配信サービスのFOD(フジテレビオンデマンド)で無料配信開始。

また、第8回は11/13(日) 26:35～27:05放送予定。FODは11/21(月)から無料配信開始。

◎ 世界182カ国でスーパーフォーミュラの放送を開始!

今シーズンから各戦の英語版 52 分ハイライト番組が 121 カ国にて放送されることになりました。この時点で
確定している視聴可能世帯数は約 3500 万、ニュースのみの露出を加えると 182 カ国でスーパーフォーミュラ
の映像が流れます。

【映像の配信】

● ニコニコ動画

土曜日の予選を全戦生中継

<http://www.nicovideo.jp/>

● GYAO!

大会終了10日以降に、スーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンドにて無料配信します。

<http://gyao.yahoo.co.jp/sports/>

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next

J SPORTS

SONY
Action Cam

NINKI-ICHI
人気酒造

● YouTube

予選ならびに決勝の競技映像をダイジェスト版にて当日夜配信します。

※配信日時は変更となる場合があります。

詳しくは予選ならびに決勝日の夜、「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」

もしくは「YouTube」本サイトでご確認ください。

<http://www.superformula.net/> <https://www.youtube.com/user/superformulavideo>

● FOD(フジテレビオンデマンド)

フジテレビで放映中の『超速GO音』を、放送日の8日後から無料配信します。

<http://fod.fujitv.co.jp/s/genre/sports>

【インターネット/SNS】

● スーパーフォーミュラオフィシャルWEBサイト

<http://superformula.net>

● スーパーフォーミュラオフィシャルfacebook

<https://www.facebook.com/superformula.official>

● スーパーフォーミュラオフィシャル twitter

https://twitter.com/SUPER_FORMULA

*この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社日本レースプロモーション 広報部

102-0074東京都千代田区九段南 2-3-25 平安堂ビル

Tel:03-3237-0131 Fax:03-3237-0131 e-mail:media@jrp-inc.net

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

 **YOKOHAMA**

Promotion Partner

 **HITACHI**
Inspire the Next

 **J SPORTS**

 **SONY**
Action Cam

 **NINKI-ICHI**
人気酒造



第15回JAF鈴鹿グランプリ
2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 最終戦
 SUPER FORMULA

2016-10-30 11:20
 WEATHER: Fine
 COURSE: Dry
 国際レーシングコース 5.807km

Race1 決勝 正式結果表

Pos.	No.	Driver	Type	Car Name	Laps	Total Time	Delay	Gap	Best
1	2	Yuji Kunimoto	TOYOTA R14A	P.MU/CERUMO・INGING SF14	19	31'58.809	207.00km/h		1'40.387
2	36	Andre Lotterer	TOYOTA R14A	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	19	32'00.581	1.772	1.772	1'40.221
3	1	Hiroaki Ishiura	TOYOTA R14A	P.MU/CERUMO・INGING SF14	19	32'11.896	13.087	11.315	1'40.951
4	40	Tomoki Nojiri	Honda HR-414E	DOCOMO DANDELION M40Y SF14	19	32'20.949	22.140	9.053	1'40.867
5	37	Kazuki Nakajima	TOYOTA R14A	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	19	32'22.952	24.143	2.003	1'41.066
6	65	Bertrand Baguette	Honda HR-414E	GREEN TEC/NAKAJIMA RACING SF14	19	32'23.760	24.951	0.808	1'41.216
7	34	Takashi Kogure	Honda HR-414E	DRAGO CORSE SF14	19	32'25.896	27.087	2.136	1'41.081
8	19	Joao Paulo de Oliveira	TOYOTA R14A	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	19	32'35.080	36.271	9.184	1'41.841
9	8	Kamui Kobayashi	TOYOTA R14A	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	19	32'35.348	36.539	0.268	1'42.084
10	64	Daisuke Nakajima	Honda HR-414E	GREEN TEC/NAKAJIMA RACING SF14	19	32'35.620	36.811	0.272	1'41.910
11	10	Koudai Tsukakoshi	Honda HR-414E	REAL SF14	19	32'36.255	37.446	0.635	1'41.995
12	3	James Rossiter	TOYOTA R14A	FUJI CORPORATION KONDO SF14	19	32'36.713	37.904	0.458	1'41.465
13	4	William Buller	TOYOTA R14A	FUJI CORPORATION KONDO SF14	19	32'41.570	42.761	4.857	1'41.937
14	18	Yuichi Nakayama	TOYOTA R14A	KCMG Elyse SF14	19	32'41.880	43.071	0.310	1'41.981
15	7	Narain Karthikeyan	TOYOTA R14A	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	19	32'42.110	43.301	0.230	1'41.608
16	11	Takuya Izawa	Honda HR-414E	REAL SF14	19	32'46.249	47.440	4.139	1'40.741
17	41	Stoffel Vandoorne	Honda HR-414E	DOCOMO DANDELION M41S SF14	19	32'47.091	48.282	0.842	1'41.356
18	20	Yuhi Sekiguchi	TOYOTA R14A	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF14	19	33'04.168	105.359	17.077	1'41.278
19	16	Naoki Yamamoto	Honda HR-414E	TEAM MUGEN SF14	18	32'50.228	1Lap	1Lap	1'40.347

以上 規定周回数完走:

開始時刻: 09:49'22
 終了時刻: 10:21'20

レース中のベストタイムは No. 36 Andre Lotterer VANTELIN KOWA TOM'S SF14 1'40.221 4/19 208.59km/h

規定周回数 17

^\`カティ

No. 20 競技結果に30秒加算した。(全日本スーパーフォーミュラ選手権統一規則第15条1。(危険なドライブ行為))

計時委員長: Takashi KURIYAMA

競技長: Hiroshi MATSUMOTO

審査委員長: Takashi MITARASHI

栗山隆史

松本 洋

御坂 浩



GR86/BRZ Race
GR Racing Cup Vitz Race



10.29 (土) 30日

予選 16:50

2016-10-30

WEATHER: Fine

COURSE: Dry

国際レーシングコース 5.807km

第15回JAF鈴鹿グランプリ
2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 最終戦
SUPER FORMULA

No 14

Race2 決勝 正式結果表

Pos.	No.	Driver	Type	Car Name	Laps	Total Time	Delay	Gap	Best
1	41	Stoffel Vandoorne	Honda HR-414E	DOCOMO DANDELION M41S SF14	35	1:08'32.427	177.92km/h		1'41.108
2	36	Andre Lotterer	TOYOTA R14A	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	35	1:08'33.153	0.726	0.726	1'41.069
3	1	Hiroaki Ishiura	TOYOTA R14A	P.MU/CERUMO・INGING SF14	35	1:08'36.415	3.988	3.262	1'40.943
4	19	Joao Paulo de Oliveira	TOYOTA R14A	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL SF14	35	1:08'38.898	6.471	2.483	1'41.612
5	65	Bertrand Baguette	Honda HR-414E	GREEN TEC/NAKAJIMA RACING SF14	35	1:08'40.927	8.500	2.029	1'41.289
6	2	Yuji Kunimoto	TOYOTA R14A	P.MU/CERUMO・INGING SF14	35	1:08'45.439	13.012	4.512	1'41.953
7	8	Kamui Kobayashi	TOYOTA R14A	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	35	1:08'46.523	14.096	1.084	1'42.021
8	20	Yuhi Sekiguchi	TOYOTA R14A	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL SF14	35	1:08'47.783	15.356	1.260	1'41.812
9	34	Takashi Kogure	Honda HR-414E	DRAGO CORSE SF14	35	1:08'50.780	18.353	2.997	1'42.445
10	64	Daisuke Nakajima	Honda HR-414E	GREEN TEC/NAKAJIMA RACING SF14	35	1:08'51.607	19.180	0.827	1'41.531
11	18	Yuichi Nakayama	TOYOTA R14A	KCMG Elyse SF14	35	1:08'53.071	20.644	1.464	1'41.847
12	10	Koudai Tsukakoshi	Honda HR-414E	REAL SF14	35	1:08'56.849	24.422	3.778	1'41.275
13	4	William Buller	TOYOTA R14A	FUJI CORPORATION KONDO SF14	35	1:08'57.744	25.317	0.895	1'42.695
14	7	Narain Karthikeyan	TOYOTA R14A	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	35	1:09'39.733	1'07.306	41.989	1'39.712
15	3	James Rossiter	TOYOTA R14A	FUJI CORPORATION KONDO SF14	35	1:09'51.541	1'19.114	11.808	1'40.777
16	37	Kazuki Nakajima	TOYOTA R14A	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	35	1:10'00.851	1'28.424	9.310	1'41.093
以上 規定周回数完走:									
	16	Naoki Yamamoto	Honda HR-414E	TEAM MUGEN SF14	28	52'32.142	7Laps	7Laps	1'42.422
	11	Takuya Izawa	Honda HR-414E	REAL SF14	22	38'55.904	13Laps	6Laps	1'42.735
	40	Tomoki Nojiri	Honda HR-414E	DOCOMO DANDELION M40Y SF14	15	26'47.655	20Laps	7Laps	1'41.957

開始時刻 : 14:49'18

SC導入 : 1回目 (15:30'03 (23Laps) ~ 15:38'14 (26Laps))

2回目 (15:42'03 (28Laps) ~ 15:51'05 (30Laps))

終了時刻 : 15:57'50

レース中のベストタイムは No. 7 Narain Karthikeyan SUNOCO TEAM LEMANS SF14 1'39.712 35/35 209.66km/h

規定周回数 31

計時委員長 : Takashi KURIYAMA

競技長 : Hiroshi MATSUMOTO

審査委員長 : Takashi MITARASHI

栗山隆史

松本洋

御坂光希